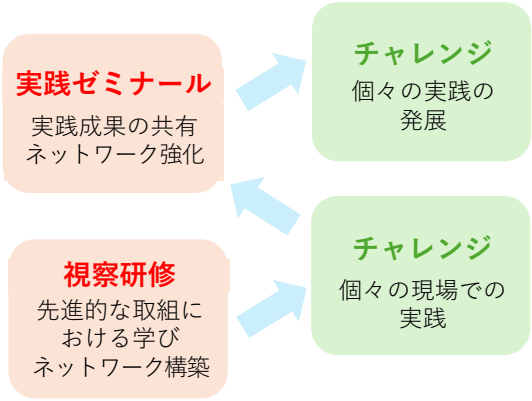
別紙

令和７年度社会教育士フォローアップ研修の概要と実施状況

国立大学法人愛知教育大学・愛知県生涯学習推進センター　共同事業

趣旨 目的

社会教育主事の職にある者、社会教育士の称号を有する方、社会教育に携わる自治体職員の方などを対象としたフォローアップ研修を実施し、社会教育に関わる継続的な学習機会を確保するとともに、社会教育人材のネットワークの構築を図る。



研修の特色

- ◆ **受講生とともに**研修の企画を進める**運営委員会方式**で実施
- ◆ **愛知県生涯学習推進センター**、**愛知県教育委員会**、**飯田市公民館**の協力を得て実施
- ◆ **先進的取組**を視察研修した後に**個々の現場で実施**し、後日の実践ゼミナールで**成果を共有**

研修の内容

参加者：社会教育主事　２名、 社会教育士　９名、自治体職員　４名

◆ 令和７年９月２７日（土）～９月２８日（日）　視察研修（於：飯田市）

- 公民館活動と住民自治で全国的にも注目される取組を実践する飯田市を訪問。地域住民が維持するりんご並木などを中心にまちあるきを実施。
- 公民館館長、公民館主事、公民館委員、地元高校生等、現場で活躍する方々の実践事例を聞いたり、意見交換を行うことにより、飯田市の先進的事例を知り、個々の実践に生かせるヒントを得た。

◆ 令和８年１月３１日（土）実践ゼミナール（於：刈谷市総合文化センター）

- 飯田市より講師を招き、フィールドワーク後の質問に答えていただくとともに、飯田市公民館の現状や歴史について更に学びを深めた。
- フィールドワーク後の個々の現場での実践を参加者同士が共有し、相談しあう機会となった。
- 視察研修で構築した人材ネットワークを強化した。










参加者感想：

- 公民館の役割や現状の課題や成果について学ぶことができたのでとても有意義な時間だった。
- 文献などでしか知り得ない情報を実地体験できた。
- 現場で活躍する方の実践紹介を生で聞けたことが一番大きかった。
- 様々な立場で活動される社会教育士と意見交流ができた。

成　果

- ◆　**住民主体で行うまちづくり**に関する取組について、参加者が**実際に現地で学び**、個々の実践のためのヒントを得ることができた。
- ◆　**県域を越えた**社会教育関係者の**人材ネットワーク構築とその強化**に寄与した。

課　題

- 今後も社会教育に関する継続的な学びの機会を確保することが重要。
- 参加者の職種が多様であるため、効果的な実施日の設定に課題。

【参考】愛知教育大学の関連Webサイト：
https://www.aichi-edu.ac.jp/pickup/2025/10/14_013982.html
https://www.aichi-edu.ac.jp/pickup/2026/02/24_014246.html